

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスさくら			
○保護者評価実施期間	令和6年12月20日	～	令和7年1月17日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数)	22
○従業者評価実施期間	令和7年1月6日	～	令和7年1月17日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・養育センターの卒園児が利用している為、移行の際は丁寧な引継ぎを行うことができ、年度途中で前担当職員と情報共有ができる。	・年長児を担当していた職員を4月からさくらの職員に配置している。	・支援を継続して行うことができるように、養育センター職員とも情報共有をしながら体制を整える。
2	施設内には、遊戯室、感覚統合室、スヌーズレン室、園庭など、様々なスペースがあり、利用児童の状態に合わせて使用することが出来る。	・養育センターの活動や行事などで、使用したい部屋が重ならないように、事前の打ち合わせで調整をしている。	・利用児童の状況に合わせて、別室で個別対応が必要な場合に臨機応変に対応できるような職員の配置と、職員間での情報共有が必要。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・土曜日の放デイは利用人数に限られるため、利用調整をさせていただいている。	・土曜日は、職員が二人体制で支援を行っている為、利用者の人数に限られてしまう。	・兄弟の行事や保護者の都合で利用希望者が多い日は、担当職員以外にも出勤要請をして職員体制を整え、対応する。
2	・センター全体の会議や研修会に参加できる機会が少ない。	・職員の勤務時間の関係で、研修を受ける機会が少ない。また、利用児童の支援にあたっている職員は、センター全体での会議や研修会に参加することが難しい。	・年末や年度末は、さくら閉所日に全体職員会議や職員研修を設定する。 ・研修に参加した職員が、情報伝達を行うことで周知する。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス事業所 さくら

公表日 令和 7年 2月 25日

利用児童数

29

回収数

22

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17			5		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22				・見たことがありません。	・コロナも過ぎましたので、ご要望があれば、いつでも施設内の見学を行っておりますので、ご相談ください。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21			1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20			2		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	2		9		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	22					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	12	5		5		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	1		1		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19			2	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16			5	・分からない事もあります。 ・マニュアルについては情報共有できるよう検討します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17			4	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19			2	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18			3	
	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20	1			
満足度	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	1			・たまに行き渋りはあります。センターに行くのは楽しんでいると思います。 ・ありがとうございます。利用の際にお困りのことがあればいつでもご相談ください。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21				

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	放課後等デイサービス事業所 さくら				公表日	令和 7年 2月 25日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内の様々なスペースを活用したり、事業ごとに使用したい時間帯を話し合っている。 ・利用者の状況に合わせた指導室を活用している。 ・体の大きさ、動きの特徴（道む方）、車いす使用等を考えながら、スペース確保をして安全面に配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用人数によっては、車いす児童・生徒の利用調整が必要な場合がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	2	<ul style="list-style-type: none"> ・余暇時間の過ごし方が複数あり、迎えの時間もそれぞれであるため、1対1対応が必要な場面が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事務員や運転手等に応援を求めている。 ・土曜日勤務職員の振休がある場合は、その日通常職員体制より1名減になる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・問題が生じた時には配置を変えたり、物を撤去したりなどその都度対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い場が、低学年児童には高すぎて使用しづらい。 ・児童トイレが職員と共用となっており、使用しづらい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8			<ul style="list-style-type: none"> ・指導室の間仕切りを活用している。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2		<ul style="list-style-type: none"> ・今後、導入の検討が必要。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を受けた職員の報告で共有出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パート職員は時間の制限があり、研修を受ける機会が少ないが、関連施設の見学などが実施できれば尚良い。 ・勤務時間が異なるので、センター全体での研修会に参加することが難しく、資料配布で終わることが多い。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		8	準備中	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・書類宛宛にて発信がある為、背景を含めたことも理解できている。 	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日のミーティングの中で簡潔に情報共有を行っている。職員間が話しやすい環境にもつながっている。 	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・来所前のミーティングで変更事項等を発信している為、分かりやすい環境である。 	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・学校や相談計画（相談支援専門員）資料等による情報も得ながら確認している。 	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・時折、四季の制作を行っている。 	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	・終了後ではなく、来所前のミーティングで前日の振り返りもしている。 ・必要に応じて終了時に行っている。 ・打ち合わせの会を設けることは難しく、情報交換をしながら翌日の打ち合わせを確認している。	・職員の退勤時間がバラバラなので、終了後の打ち合わせは難しい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	8			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1		今年度はなかった。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	7	・他事業所との交流会を行った。 ⇒放課後等デイサービス 陽だまり（紫波）	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	1	・参加職員と連携している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3		・今年度はなかった。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3		・今年度は、保護者懇談会を実施できなかった。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		・コロナ禍以降、なかなか難しい。 ・新型コロナ流行以降、機会は少ないが、徐々に増やせるようにしている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			・現在、指示書が必要な児童はいない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8				